

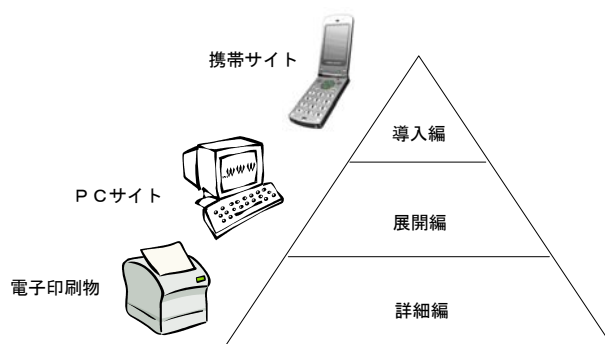
## 5. 8 中高生キャリア教育小委員会

安全・安心な市民生活の実現にインフラ整備は欠かせない。それを担う土木業界には多様な人材が必要である。土木離れが進む今日、人材確保は急務の課題である。

義務教育を経て、高等教育を修了して職業に就くという一般的な進路を考える。人材確保には、多くの中高生に土木系の進路を選択してもらう活動が効果的と思われる。土木が社会に果たす役割を理解してもらい、土木技術者の多様な職域と典型的なキャリアパスを知ってもらうための情報提供が必要である。本小委員会では、インターネットを活用した中高生対象の土木キャリアガイドラインの作成について検討した。

検討したガイドガイドラインの概要は以下のとおり。

- (1) 目的：より多くの中高生が土木技術者を目指す進路を選択してもらうための情報提供
- (2) 提供する情報：土木の役割／土木技術者の種類／土木技術者のキャリアパス／土木技術者になるには
- (3) 情報の階層化と活用する媒体：



媒体	ねらい	企画
携帯サイト	土木に興味を持ってもらう	土木クイズ
PCサイト	土木の役割を知ってもらう	24時間と土木
電子印刷物	土木技術者を知ってもらう	土木技術者の紹介

以上に関連して、本小委員会には以下の活動を行った。

- ・ 技術者像の絵柄を示すために各業種のキャリアパスを図式化し、そのために進学すべき学校を示した。
- ・ 雑誌「国づくりと研修 125号、2009年8月（建設研修センター）」において「日常生活を支え続ける24時間の土木」と題する座談会を行い、本企画の基本構想を対外的にリリースした。
- ・ 土木学会タスクフォースで本企画が土木学会の重点施策として位置づけられたことから、当委員会とタスクフォースとで今後の実現方法について意見交換を行った。

平成21年度の完成を目途としていたが、携帯サイト構築に必要な予算措置が調整できず、平成21年度は親委員会の予算調整範囲でできることとして携帯サイトの基本設計を外部委託した。平成22年度においては、土木学会の情報システムの整備スケジュールとの関係から実行は平成23年度が最適な整備時期と考え、携帯サイトとのリンク構造に配慮したPCサイトのコンテンツの整備について議論を行った。